

暫定議題
第 23 回科学委員会に付属する拡大科学委員会

スペイン、サンセバスチャン
2018 年 9 月 3 - 8 日

1. 開会
 - 1.1. 参加者の紹介
 - 1.2. 会議運営上の説明
2. ラポルツアーの任命
3. 議題及び文書リストの採択
4. SBT 漁業のレビュー
 - 4.1. 国別報告書の発表

2018 年漁期は、全ての CCSBT メンバーが帰属 SBT 漁獲量に関する共通の定義を全面的に実施することが合意されている漁期である。また、2017 年 10 月に開催された遵守委員会会合報告書パラグラフ 19 では、「メンバーが帰属漁獲量をどのように推定したのかにかかる透明性が重要であり、これを将来における拡大科学委員会 (ESC) の報告の一部とすることが合意された」としている。メンバーは、ESC に対する各国の国別報告書又は別の会合文書として、この情報を提示する必要がある。
 - 4.2. 事務局による漁獲量のレビュー
5. 第 5 回戦略・漁業管理作業部会からの報告
6. 第 9 回 OMMP 技術会合からの報告
7. CPUE モデリング部会からの報告

この議題項目は暫定的なものであり、2018 年において CPUE ウェブ会合が開催されるかどうかによる。
8. 科学調査計画及びその他休会期間中の科学活動の結果のレビュー
 - 8.1. 科学活動の結果
 - 8.2. 蓄養及び市場調査小作業部会の作業計画の進捗状況に関する報告
9. 漁業指標の評価
10. SBT の資源状況
 - 10.1. メタルール及び例外的状況に関する評価
 - 10.2. SBT の資源状況の概要

11. 新たな MP の開発

11.1. 改善した候補管理方式 (CMP) の評価

11.2. CMP のサブセット、異なるチューニング及び拡大委員会会合において発表する結果の選択

12. 科学調査計画のアップデート

現行の [5年間の科学調査計画 \(SRP\)](#) は、2014 年から 2018 年の期間に対応するものである。ESC は、次の 5 年間に向けた SRP のアップデートを検討する必要がある。

13. 2019 年におけるデータ交換要件

14. 調査死亡枠

15. 2019 年 (及びそれ以降) の作業計画、スケジュール及び研究予算

15.1. 2019 年の研究活動案の概要、スケジュール及び見込まれる予算と、作業計画及び予算に対する科学調査計画の影響

2019 年及び 2020 年の仮予算に関する検討の際、2017 年 10 月に開催された財政運営委員会 (FAC) は、ESC 23 に対し、2019 年の MP 協議会合 (1 日間) 及び 2020 年の MP 臨時会合に関する ESC からの開催提案について、その必要性及び目的を確認するよう要請した。ESC は、FAC による判断並びに 2019 年及び 2020 年の予算措置の決定の一助となるよう、要請されている回答を行う必要がある。

15.2. 次回会合の開催時期、期間及び構成

16. その他の事項

16.1. ISSF 資源評価ワークショップに関する報告

ISSF は、2018 年 3 月に、資源状況の判断に関する現行のまぐろ類 RFMO の取組のレビューに関するワークショップを開催した。この議題項目では、同会合に出席した CCSBT の代表者から、同会合の成果に関する報告を受ける。

16.2. 科学諮問パネル

ジョン・ポープ教授は、ESC 会合の終了時点で CCSBT の科学諮問パネルから退任する意向である。ESC は、拡大委員会に対し、後任の科学諮問パネルメンバーの必要性及びスキルセットに関する助言を行う必要がある。ESC は、2015 年の ESC 会合において同パネルの選択基準を検討したところであり、議論のベースとして [ESC 20 報告書別紙 11](#) の選択基準を活用することが考えられる。

17. 会合報告書の採択

18. 閉会